

ライフサポートひなた イルパン アルビ(介護職/入所介護)

- 功 績** EPA制度での入職後、言葉や文化の違いもある中で、適宜仕事に順応し、丁寧なケア、言葉遣いで、利用者様より、高く信頼評価されている。
EPA入職者の見本、希望となる働きをされている功績。
- 推 薦 者** 川島 郁子 (看護/看護部)
- 推 薦 理 由** イルパンさんの勤務する姿は、今後EPAで入職される人たちの見本となり、励みになると感じたため、今回の理事長賞に推薦させていただきました。

内 容

平成30年7月。当施設初となるEPA制度により入職されました。

周りスタッフも言葉の壁や文化の違いに戸惑いはありました。引き継ぎがうまくいかなかったこともありましたが、知らない言葉はしっかり勉強され、医療用語、ケア用語にも時間をかけて覚えていきました。

宗教、文化の違いもあり、お祈りや断食など仕事時間に影響することもありましたが、その中でも、迷惑をかけないようにと、自分のやるべきことをしっかり把握し、業務につく姿は他のスタッフの見本ともなりました。

先日入所されていた方から、海外の方というだけで、関わらないでほしいと差別的な態度をとられてしまったことがありました。

精神的にもつらかったと思いますが、今、自分に出来ることをと出来る限りの対応をし周りのスタッフの支えもあり、その方のケアに再びかかわれるようになった時は、本当にうれしそうにされていました。

もともと、言葉づかい、ケアは丁寧で、とても気が付く方です。その利用者様にもちゃんと前向きに向き合うことで、退所時には「ひどいことを言ってごめんなさい。とてもいい人で、申し訳ありませんでした。ただ、海外の方というだけで変な偏見を持ってしまって。接していくうちに、言葉遣いも丁寧だし、心のこもったケアがうれしかった」とのお言葉を頂きました。

当施設は次回EPAの手あげを検討します。イルパン君がひなたの扉を開けてくれました。